

地域医療支援病院業務報告書

令和 1年 9月 30日

沖縄県知事 殿

住 所 〒905-0009 沖縄県名護市宇字茂佐の森五丁目  
開設者 北部  
氏 名 公益社団法人 北部地区医師会 上地 博之

標記について、医療法施行規則第9条の2の規定に基づき、平成30年度の業務に関して報告します。

記

1 名称

公益社団法人 北部地区医師会 北部地区医師会病院

2 所在地

〒905-8611 沖縄県名護市宇字茂佐1712-3

3 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
0床	0床	0床	0床	200床	200床

4 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 人工呼吸器 除細動器、呼吸心拍監視装置 輸液ポンプ シリンジポンプ 気管内視鏡 救急蘇生装置一式 CHDF ACT測定器 血液ガス測定装置 病床数 6床
化学検査室	(主な設備) 免疫分析装置 顕微鏡 恒温槽 遠心機 尿定成分分析装置 自動血球 計算装置 網状赤血球測定装置 凝固測定装置 赤沈測定装置 生化学分析装置 ヘモグロビンA1c測定装置 血液ガス分析装置 ミキサー 血中アンモニア測定装置 血中薬物測定装置 検体検査システム 全自動輸血検査装置
細菌検査室	(主な設備) 孵卵器 オートクレイブ滅菌器 顕微鏡 ミキサー 全自動同定・感受 性システム 血液培養装置 細菌報告書管理パソコン トキシノメーター PCR装置 安全キャビネット
病理検査室	(主な設備) 顕微鏡 デジタルカメラ バーチャルスライド作製システム 臓器撮影装置 パラフィン伸展機 パラフィン包埋装置 ミクロトーム 孵卵器 クリオスタット ラミナーテーブル 密閉式固定包埋装置
病理解剖室	(主な設備) 解剖室 解剖台
研究室	病棟カンファレンスルーム、教育・シミュレーション室 (主な設備) 医療用ベッド 電子カルテ フィジカルアセスメントモデルphysiko AEDリトルアン AEDトレーナー 静脈注射パット 吸引・経管栄養・褥瘡 ケア・口腔ケアシュミレーター プロジェクタースクリーン メトローム



施設名	設 備 概 要		
講義室	室数	1 室	収容定員 70 人
図書室	室数	1 室	蔵書数 2, 327 冊程度
救急用又は患者 搬送用自動車	(主な設備) パルスオキシメーター 心電図モニター 除細動器 輸液ポンプ シリンジポンプ 酸素ボンベ ポータブル吸引器 ストレッチャー 保有台数 1 台		
医薬品情報 管理室	[専用室の場合]	床面積	6 m <sup>2</sup>
	[共用室の場合]	室と共用 (床面積	m <sup>2</sup> )

注1 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

注2 前回報告後、施設の構造設備の変更あれば、当該施設に係る建物の平面図を添付し、その施設を朱書き等により明示すること。

#### 5 紹介患者への医療提供及び他院への患者紹介の実績

地域医療支援病院紹介率	71.0%	算定期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	77.4%		
算出根拠	A：紹介患者の数		4,110人
	B：初診患者の数		5,792人
	C：逆紹介患者の数		4,484人

注1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

注2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

注3 それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

#### 6 共同利用の実績（別紙第1）

## 7 救急医療の提供の実績

### (1) 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤務の態様	勤務時間	備 考
1	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	病院長
2	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	副院長、内科部長
3	医師		常勤 専従	8:30~17:30	救急科科長
4	医師		非常勤 専従	8:30~17:30	救急科
5	医師		非常勤 専従	8:30~17:30	救急科
6	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	内科 消化器科長
7	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	内科
8	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	内科
9	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	内科
10	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	内科
11	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	呼吸器・感染症科長
12	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	呼吸器・感染症
13	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	呼吸器・感染症
14	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	副院長、外科部長
15	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	外科科長
16	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	外科 (医局長)
17	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	外科
18	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	外科
19	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	外科
20	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	外科
21	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	整形外科科長
22	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	脊椎外科
23	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	整形外科
24	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	整形外科
25	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	リウマチ科長
26	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	皮膚科科長
27	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	HCU室長
28	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	麻酔科科長
29	医師		非常勤 非専従	8:30~17:30	麻酔科
30	医師		非常勤 非専従	8:30~17:30	麻酔科
31	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線科科長
32	医師		常勤 非専従	8:30~17:30	検査科科長
33	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来師長
34	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来主任
35	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来主任
36	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来主任

No	職 種	氏 名	勤務の態様	勤務時間	備 考
37	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急主任補佐
38	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
39	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
40	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
41	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
42	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
43	看護部		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
44	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
45	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
46	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
47	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
48	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
49	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
50	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
51	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
52	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
53	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
54	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
55	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
56	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
57	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
58	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
59	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
60	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
61	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
62	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
63	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
64	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	I CU・救急外来
65	救急救命士		非常勤 専従	8:30~17:30	救急外来
66	救急救命士		常勤 専従	8:30~17:30	救急外来
67	救急救命士		非常勤 専従	8:30~17:30	救急外来
68	救急救命士		非常勤 専従	8:30~17:30	救急外来
69	救急救命士		非常勤 専従	8:30~17:30	救急外来
70	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	手術室 師長
71	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	手術室 主任
72	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	手術室
73	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	手術室
74	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	手術室

	職 種	氏 名	勤務の態様	勤務時間	備 考
75	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	手術室
76	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	手術室
77	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	手術室
78	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	手術室
79	看護師		常勤 非専従	8:30~17:30	手術室
80	放射線技師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線室 室長
81	放射線技師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線科 室長
82	放射線技師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線科
83	放射線技師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線科
84	放射線技師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線科
85	放射線技師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線科
86	放射線技師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線科
87	放射線技師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線科
88	放射線技師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線科
89	放射線技師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線科
90	放射線技師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線科
91	放射線技師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線科
92	放射線技師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線科
93	放射線技師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線科
94	放射線技師		常勤 非専従	8:30~17:30	放射線科
95	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	生理検査室 室長
96	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	生理検査室 主任
97	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	生理検査室 主任
98	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	生理検査室
99	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	生理検査室
100	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	生理検査室
101	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	生理検査室
102	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	生理検査室
103	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	生理検査室
104	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	生理検査室
105	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床検査室 室長
106	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床検査室
107	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床検査室
108	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床検査室
109	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床検査室
110	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床検査室 室長代行
111	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床検査室
112	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床検査室

No	職 種	氏 名	勤務の態様	勤務時間	備 考
113	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床検査室
114	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床検査室
115	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床検査室
116	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床検査室
117	臨床検査技師		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床検査室
118	臨床工学技士		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床工学室 主任補佐
119	臨床工学技士		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床工学室
120	臨床工学技士		常勤 非専従	8:30~17:30	臨床工学室
121	薬剤師		常勤 非専従	8:30~17:30	薬局長
122	薬剤師		常勤 非専従	8:30~17:30	副薬局長
123	薬剤師		常勤 非専従	8:30~17:30	薬局
124	薬剤師		常勤 非専従	8:30~17:30	薬局
125	薬剤師		常勤 非専従	8:30~17:30	薬局
126	薬剤師		常勤 非専従	8:30~17:30	薬局 主任
127	薬剤師		常勤 非専従	8:30~17:30	薬局
128	薬剤師		常勤 非専従	8:30~17:30	薬局
129	薬剤師		常勤 非専従	8:30~17:30	薬局
130	薬剤師		常勤 非専従	8:30~17:30	薬局
131	薬剤師		常勤 非専従	8:30~17:30	薬局
132	薬剤師		常勤 非専従	8:30~17:30	薬局

※休日・夜間帯においては、医師4名、他スタッフ現場配置による当直/オンコール体制

(2) 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	10床
専用病床	床

注 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

(3) 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来	151㎡	(主な設備) 心電図モニター 除細動器 輸液ポンプ シリンジポンプ 心臓超音波診断装置	可
経過観察室	59㎡	(主な設備) 観察ベッド 7床	可
放射線室 (CT撮影)	23.4㎡	(主な設備) コンピューター断層撮影装置 (64列)	可
放射線室 (MRI撮影)	47.8㎡	(主な設備) (テスラ1.5) 磁気共鳴コンピューター断層撮影装置	可

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
臨床検査室	386.7㎡	(主な設備) 心電計 超音波診断装置 緊急検体検査(「4 施設の構造設備」 化学・細菌・病理検査室を参照)	可
内視鏡センター	83.4㎡	(主な設備) 消化管止血レーザー装置	可

(4) 備考

<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急病院を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づく救急告示病院である。</li> <li>・平成14年より内科・外科・整形外科の24時間の1～2次救急医療を行っている。</li> <li>・平成29年8月1日より、北部地域で外科症状のある救急患者に関し、沖縄県立北部病院での受入制限を行っている。その制限期間を含めた時間帯の受け入れを当院が行っている。（別紙第8参照） <ul style="list-style-type: none"> <li>①平成29年8月1日～平成30年3月31日 毎週 火・木・日の午後5時から翌朝8時まで 救急搬送を含む新患受入れの対応制限</li> <li>②平成30年4月1日～ 期限未定 毎週 月～木曜日と日曜日の午後5時から翌朝8時まで 救急搬送を含む新患受入れの対応制限</li> <li>③外科の定期・緊急手術において、北部地区医師会病院の外科の指導医が曜日を定めて手術指導および手術の応援を行っている。</li> </ul> </li> </ul>
---

注 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。  
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

(5) 救急患者の数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	2,184人 (952人)
上記以外の救急患者の数	7,993人 (1,171人)
合計	10,177人 (2,123人)

注 それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。  
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

(6) 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

- 8 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績（別紙第2）
- 9 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法（別紙第3）
- 10 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績（別紙第4）
- 11 委員会開催の実績（別紙第5）
- 12 患者相談の実績（別紙第6）
- 13 その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）（別紙第7）

(別紙第1)

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）の実績

1 共同利用の実績

共同利用を行なった医療機関の延べ数： 1,179  
開設者と直接関係のない医療機関の延べ数： 1,164  
共同利用に関わる病床利用率：148.2%

注 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

CT検査（全身用コンピューター断層撮影装置）、MRI検査（磁気共鳴コンピューター断層撮影装置）、エックス線造影検査、乳癌撮影装置（マンモグラフィ）、超音波検査、胃・大腸内視鏡検査、骨塩測定検査、手術室、会議室、図書室、開放型病床

注 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用を行ったものを明記すること。

3 共同利用の体制

- (1) 共同利用に関する規定の有無 有  
(2) 利用医師等登録制度の担当者 氏名：  
職 種： 連携課 看護師長

注 共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。（別紙第9参照）

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援 病院開設者との 経営上の関係
アイクリニック敬愛	新嵩 哲夫	名護市宮里6-4-21	眼	無
赤嶺内科	赤嶺 勝成	名護市大北1-5-11	内・呼・消・胃・透折	無
新垣耳鼻咽喉科	新垣 義孝	名護市宮里453-7	耳鼻咽喉	無
あがりえクリニック	萩原 真理	名護市大東1-5-34	内・消・小児	無
伊江村立診療所	阿部 好弘	伊江村字東江前459	内・外・小児・ 整・リハビリ・皮	無
伊差川整形外科	小禄 尚	名護市伊差川309-1	整・リハビリ	無
うりずん診療所	比嘉 良博	名護市宮里1004	内・児・整・皮・ リウマチ・リハビリ	無
運天産婦人科医院	運天 啓一	名護市大中3-1-5	産・婦	無



医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援 病院開設者との 経営上の関係
大兼久医院	奥濱 真輔	名護市城1-1-13	内・小児	無
大北内科・胃腸科 クリニック	上地 博之	名護市大北3-1-48	内・胃・消	無
大宜味村立診療所	内間 恭堅	大宜味村塩屋1306-62	内・外・皮	無
おくまクリニック	奥間 裕次	金武町金武4790-1	内・小児・外・整・ 禁煙外来	無
おおにし医院	大西 弘之	名護市城2-10-16	内・消・小児	無
大宮医院	知念 義和	名護市宮里3-1-20	内・小児・外・肛・漢	無
恩納クリニック	玉城 徳光	恩納村恩納6329	内・小児・循・胃・ 呼・消	無
かじまやリゾート クリニック	鍛 司	名護市宮里518-2	内・児・外・婦・ リハビリ	無
儀保小児科・内科医院	儀保 隆男	名護市大西2-4-32	内・小児	無
きんクリニック	高良 和代	金武町金武94	内・小児・皮	無
久志診療所	池間 意和	名護市三原64-7	内・外・整・ リハビリ	有
国頭村立診療所	諫山 義人	国頭村辺士名1437	内・小児・外	無
さくら眼科	友寄 一	名護市伊差川310-1	眼	無
スポーク・クリニック	大嶺 啓	名護市宇屋部117	内・整・リハビリ	無
たいようのクリニック	宮平 健	名護市大西3-15-1	内・透析・腎内 リウマチ	無
たまき産婦人科	玉城 修	名護市大北5-3-4	産・婦	無
中央外科	名嘉真 透	名護市城1-1-12	内・外・整・胃・ リハビリ	無
辻眼科	辻 健一	名護市宮里1-26-11	眼	無
なち泌尿器科 クリニック	仲地 研吾	名護市大中5-4-50	内・外・皮・泌	無
名嘉真皮膚科	名嘉真 武司	名護市大東1-10-13	皮	無

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援 病院開設者との 経営上の関係
今帰仁診療所	石川 清和	今帰仁村謝名139	内・小児・リハビリ	無
名護記念クリニック	小杉 忠誠	名護市宮里7-22-35	耳鼻咽喉	無
名護皮ふ科	金城 浩邦	名護市大北1-2-34	皮	無
ひかり医院	金城 英與	国頭村辺士名197	内・小児・精・皮・ リハビリ	無
ひだか脳神経外科	日高 俊彦	名護市字宇茂佐1746-6	内・外・整・脳外・ リハビリ・放・神内	無
平安山医院	平安山 英機	名護市宇茂佐1702-1	内・小児・透折	無
北部皮フ科クリニック	宮城 恒雄	名護市大北3-9-7	皮	無
みみ・はな・のど ゆいクリニック	金沢 景保	名護市大北5-22-25	耳鼻咽喉	無
屋我地診療所	小野寺 隆	名護市饒平名460-1	内・外・小児	無
やまだクリニック	山田 護	本部町字大浜874-15	内・小児・外	無
やんばる協同 クリニック	島津 光邦	名護市大北5-3-2	内・消	無
ゆうクリニック	上原 忠司	名護市宇茂佐の森1-1-5	内・外	無
よなみね内科 クリニック	與那嶺 幸司	名護市宇茂佐1705-25	内	無
あき内科クリニック	平野 亜紀	名護市宇茂佐919-7 1F	内・リウマチ・腎内	無
たいら内科クリニック	平良 直也	名護市宮里6-8-7	内・血内・リウマチ	無
ちはる眼科	上門 千時	名護市字宮里6-8-7	眼	無
K I N放射線・健診 クリニック	高江洲 義滋	金武町字金武10897	内科・眼科・脳外	無
北部形成・外科診療所	佐次田 保徳	名護市大南2-13-8	外・形外・皮	無

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数

20床

(別紙第2)

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

- ・北部地区地域リハビリテーション勉強会：食事支援について、認知症について（脳とレクリエーションの関係）、運動と栄養について（健康寿命のびもり体操）、嚥下体操（健康長生きもぐもぐ体操）
- ・北部医療従事者向け地域勉強会：創傷管理（その傷スキン・ケアではないですか？）
- ・看護部フィジカルアセスメント研修会、介護施設・在宅等における感染管理対策、うつ病に対する医療の支援体制強化事業、北部地区医療連携体制推進事業（北部地域医療糖尿病連携パス研修会）

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	12回
(2) (1)の合計研修者数	381人 (院内43人 院外338人)

注1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

注2 (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 有 無

(2) 研修委員会設置の有無 有 無

(3) 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診 療 科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	内科	院長	28年	
	医師	内分泌代謝科	副院長	31年	
	医師	精神科	メンタルクリニックやんばる		院外
	医師		やまだクリニック 院長		院外
	医師		たいようのクリニック 院長		院外
	看護師		中部病院 感染管理認定看護師		院外
	管理栄養士		かりゆしめ村 管理栄養士		院外
	看護師	看護部	副看護師長	33年	看護部教育担当
	看護師	連携課	連携課師長	40年	研修調整担当
	看護師	看護部	救急・HCU師長	22年	フィジカル担当
	看護師	看護部		6年	フィジカル担当
	看護師	看護部		5年	フィジカル担当
	看護師	看護部	皮膚・排泄ケア認定看護師	22年	
	看護師	外来	皮膚・排泄ケア認定看護師	32年	
	理学療法士	リハビリ科	室長	15年	
	理学療法士	リハビリ科	主任	16年	
	言語聴覚士	リハビリ科	主任	3年	

研修指導者氏名	職 種	診 療 科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	言語聴覚士	リハビリ科		2年	
	言語聴覚士	リハビリ科		1年	
	作業療法士	リハビリ科		3年	

注 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

#### 4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
会議室	84.53㎡	(主な設備) 電子カルテ スクリーン プロジェクター ワイヤレスアンプ
病棟カンファレンス ルーム	11.51㎡	(主な設備) 電子カルテ、高性能モニター
教育・シミュレー ション室	52.20㎡	(主な設備) 医療用ベッド 電子カルテ フィジカルアセスメント モデルphysiko AEDリトルアン/AEDトレーナー 静脈注射パット 吸引・経管栄養・褥瘡ケア・口腔ケアシュミレーター スクリーン プロジェクター メトローム グリッターバグ (手洗いチェッカー)
救急室	90㎡	(主な設備) 電子カルテ シャーカステン 高性能モニター
手術室	66㎡	(主な設備) 電子カルテ
リハビリ室	340.81㎡	(主な設備) 電子カルテ

(別紙第3)

#### 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	(病院長)
管理担当者氏名	(診療情報課 係長)

諸記録内容	保 管 場 所	分 類 方 法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方箋、手術記録、 看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹 介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経 過の要約	看護部 診療情報課	年度別単位 (1入院単位) ※保管の基本は電子カルテだが 紙カルテ混在。	
病院の管理及び 運営に関する諸 記録	共同利用の実績	連携課	年度別単位
	救急医療の提供の実績	連携課	年度別単位
	地域の医療従事者の資質の向上を 図るための研修の実績	連携課	年度別単位
	閲覧実績	診療情報課	年度別単位
	紹介患者に対する医療提供及び他 の病院又は診療所に対する患者紹 介の実績の数を明らかにする帳簿	連携課	年度別単位

注 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(別紙第4)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	(病院長)
閲覧担当者氏名	(診療情報課 係長)
閲覧の求めに応じる場所	診療情報課
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>診療記録等の開示については、当院の「開示に関する管理規定」に基づき、開示を進めていく。 尚、開示規定については別紙第10「諸記録等の開示に関する管理規定」を参照。</p>	

前年度の総閲覧件数		28件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	28件

委員会の開催回数	4回
委員会における議論の概要	
<p>第1回 地域医療支援病院委員会  開催日時：平成30年6月5日（火）14：00～14：35  場 所：北部地区医師会病院 2階会議室</p> <p>① 規定第7条審議事項に該当する議題について  ・平成29年度 地域医療支援病院実績報告</p> <p>② 質疑応答（意見交換会）  ・救急医療について（受診者の傾向、年代別動向、病院間搬送、Drへリ 等）  ・共同利用・登録医について（利用実績と登録医数 等）  ・看取りについて（院内、施設、ガイドライン 等）</p> <p>第2回 地域医療支援病院委員会  開催日時：平成30年9月18日（火）14：30～15：00  場 所：沖縄県立北部病院 2階会議室</p> <p>① 規定第7条審議事項に該当する議題について  ・平成29年4月～8月 地域医療支援病院実績報告</p> <p>② 質疑応答（意見交換会）  ・救急受診について（救急受診件数、転院搬送、小児患者、外国人受診者 等）  ・施設との調整（受診から退院について、）・医師の動向（人数、診療体制 等）</p> <p>第3回 地域医療支援病院委員会  開催日時：平成30年12月4日（火）14：00～14：35  場 所：北部地区医師会病院 2階会議室</p> <p>① 規定第7条審議事項に該当する議題について  ・平成29年9月～11月 地域医療支援病院実績報告</p> <p>② 質疑応答（意見交換会）  ・緊急手術等について（県立北部病院と医師会病院の割合等）  ・救急受診について（診療科、月別総数、傷病、重症度 等）  ・県立北部病院 外科受入れ制限における影響について</p> <p>第4回 地域医療支援病院委員会  開催日時：平成31年3月5日（火）14：30～14：55  場 所：北部地区医師会病院 2階会議室</p> <p>① 規定第7条審議事項に該当する議題について  ・平成29年4月～平成30年1月 地域医療支援病院実績報告</p> <p>② 質疑応答（意見交換会）  ・病床の利用状況について（地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟）  ・救急受診について（時間帯、小児等 ）・次年度の医師の配置について</p> <p>※平成31年6月26日（水）に行われた「公益社団法人 北部地区医師会 定時総会」にて、  北部地区医師会病院の前年度の紹介・逆紹介、救急車搬送等の実績を報告。</p>	

注 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

## 患者相談の実績

患者相談を行う場所	2階 連携課 相談室
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	<p>【医療相談室】</p> <p>(社会福祉士) (退院支援看護師)</p> <p>(社会福祉士) (退院支援看護師)</p> <p>(社会福祉主事)</p> <p>【患者相談室】</p> <p>(看護師)、 (社会福祉士)</p> <p>(看護師)、 (看護師)、</p> <p>(医療ケアマネジャー)、 (医療ケアマネジャー)</p>
患者相談件数	件
患者相談の概要	
<p>① 医療相談室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療相談のべ件数 6,995 件 : <ul style="list-style-type: none"> <li>新規相談 (1,628 件) 継続相談 (5,367 件) / 入院 (6,303 件) 外来 (692 件)</li> <li>相談形態：訪問 (1,068 件) 来所 (957 件) 電話 (6,023 件)</li> </ul> </li> <li>・ 相談内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>経済的問題調整・援助 (16 件) 病院・施設等への転院調整・援助 (2,821 件)</li> <li>在宅退院調整 (2,568 件) 他機関紹介・連絡調整 (518 件)</li> <li>社会資源の活用相談・援助 (911 件) 受診・入院相談・援助 (137 件)</li> <li>その他 (62 件) 退院前カンファレンス (17 件)</li> </ul> </li> <li>・ 相談に基づき講じた対策 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 患者の入院中のリハビリの状況を家族に見学してもらい、退院後の方向性を検討するための機会を設けている。</li> <li>2) 在宅退院に向け、自宅での生活のイメージを持ってもらうため、外泊の機会を病棟看護師とともに提案している。</li> <li>3) 退院後、自宅での療養の中で多職種との関わりが必要な患者に対し、ケアマネージャーや訪問看護ステーションの看護師、ヘルパーなどの関係職種を集めた、「退院前カンファレンス」を調整し、患者や家族が安心して自宅での療養生活を送れるよう取り組んでいる。</li> <li>4) 在宅退院を目指す患者に対し、ご家族に自宅内を撮影した写真を持参していただき、その写真を元に退院後の住宅環境を整える(手すりや段差等)ためのアドバイスやリハビリスタッフにより退院前自宅訪問を行っている。</li> <li>5) 整形外科回診に相談員も同行し、患者の病態把握と今後の方向性についての情報提供を図り、退院調整の促進を行っている。</li> <li>6) 個々の相談援助技術の技術向上を図るため、地域で開催される勉強会や研修会、情報交換会等へ参加。知り得た情報を他の相談員と共有し、日々の業務に活かせるよう取り組んでいる。</li> </ol> </li> </ul>	

② 患者相談窓口

- ・相談のべ件数 55 件
- ・相談形態：電話（31 件） 面談（22 件） その他（2 件）
- ・相談内容：苦情（8 件） 診療内容（7 件） 医療相談（6 件） がん相談（27 件） 医療費（2 件）  
その他（7 件）

③ 意見箱

- ・投書件数 45 件：
- ・内容：苦情（23 件） 要望（10 件） お礼（12 件） ご声援（0 件） ※複数選択有
- ・苦情の内訳：スタッフの待遇（14 件） 施設設備（2 件） その他（7 件）
- ・患者相談窓口、意見箱の内容に基づき講じた対策：
  - 1) 毎週 1 回行われる患者サポートカンファレンスにて、相談内容の報告と評価、経過報告を行い、その詳細を月 1 回行われる医療安全委員会場で報告し、情報共有を図った。
  - 2) 施設設備に関する苦情に関し、カンファレンスメンバーで苦情のあった区域のラウンドを実施し、対策をその場で講じた。
  - 3) 患者相談窓口、意見箱の 1 年間の活動報告を、職員が参加する「医療の質向上委員会」にて発表し、情報共有と対策についての意識づけを図った。

注 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

(別紙第 7)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	

注 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有
・情報発信の方法、内容等の概要	
1、週報の発信	
・北部地域の医師会会員（登録医・関係医療機関等）へ、前週の紹介、逆紹介、救急患者数、救急車台数、病床利用率、医師の休診・代信、院内行事等についての情報を広報している。	
2、地域の医療機関ならびに住民への広報および啓蒙活動	
・「地域医療支援病院の役割」についてのポスターおよびホームページで掲示。	
・当院への受診歴、紹介状の無い患者の「受診」に関する問い合わせに対し、電話・受付窓口にて地域医療支援病院としての役割を説明し、近隣かかりつけ医（診療所・クリニック）を案内している。（診療所・クリニックの電話番号またはポストカードの配布）	
※ただし、緊急性が疑われる病態に関しては、医師、看護師へ確認を図っている。	



### 3 退院調整部門

退院調整部門の有無	有
<p>・退院調整部門の概要</p> <p>連携課 医療ソーシャルワーカー4名、退院調整看護師2名。</p> <p>患者支援部門の体制を強化するため、「患者支援室」として室内を改装（平成30年1月完了）入院前と退院時の支援を行うスタッフとして、退院調整看護師3名を次年度配置にむけて育成中。</p> <p>①入院7日以内に、退院困難な要因を抽出し、退院支援計画書を作成。</p> <p>患者に関する情報を家族や地域の医療介護福祉機関から収集するなど、早期的な退院に向けての介入を図っている。</p> <p>②病棟回診、病棟別リハビリカンファレンスにて、患者の病態・リハビリの状況等を把握し、医師、看護師、リハビリスタッフと連携して退院調整を図っている。（対策例は、別紙第6参照）</p>	

### 4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定	有
<p>・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容</p> <p>・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み</p> <p>1. 大腿骨頸部骨折地域医療連携パス</p> <p>内容：平成20年7月大腿骨頸部骨折の患者が、急性期病院での手術や術後短期の離床目的リハビリテーションを終えた後、回復期リハビリテーション病床のある連携病院と「連携パス用紙」を用いて患者情報を共有し、社会復帰・在宅療養が出来るよう支援する連携パス。</p> <p>急性期病院（旧計画管理病院）：沖縄県立北部病院、北部地区医師会病院</p> <p>回復期リハビリテーション病床（旧連携病院）：勝山病院、宮里病院、かんな病院</p> <p>現状：参加5施設が持ち回りで、年3回のパス委員会を企画・開催している。</p> <p>パス委員会の中では、パス利用実績の報告と連携パス用紙の書式見直し、よりよい連携が図れるよう、意見交換を行っている。</p> <p>平成30年度の診療報酬改定により「入退院支援加算」の施設基準が緩和され「地域連携診療計画書の連携機関との共有」「年3回以上の情報の共有、計画書の見直し」が行われていれば算定できる要件となったが、人員不足等により計画書に基づく調整・対応がうまく図れず計画書での連携パスは実施できていない。</p> <p>2. 北部保健医療圏域 胃瘻連携パス</p> <p>内容：平成20年8月、北部福祉保健所、北部保健医療圏内の急性期病院、回復期・慢性期病院、診療所・施設等が協力して策定した「胃瘻」の北部地域保健医療圏域限定の連携パス。</p> <p>胃瘻の造設・交換、管理に関する対応を、北部地域で統一した書式を用いて運用している。</p> <p>現状：北部地域に急性期病院が2施設しかない中、沖縄県立北部病院の専門医不足により、胃瘻の造設・交換の対応を北部地区医師会病院が主に実施している状況。</p> <p>胃瘻の交換に関しては、各療養病院での対応が普及しつつある。</p>	

### 3. 北部医療圏域糖尿病地域連携パス

内容：平成20年8月、北部福祉保健所、専門医療機関、かかりつけ医、市町村が協力して策定した、糖尿病の地域連携クリティカルパス。糖尿病の発症予防から診断、治療、ケアに対する保健、医療の分野が連携を図り、北部医療圏における一次予防、二次予防、三次予防の標準化を図ることを目的に運用している。

患者の病状に応じて、市町村、かかりつけ医、専門病院の各機関の役割を定めている。

現状：当院の内分泌代謝科常勤医1名、琉球大学医学部付属病院からの医師派遣の応援を週1回受け、糖尿病の再診患者の診療を主に行っている。